

次長						
承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
					 	

様式第1号

令和7年10月8日

真庭市議会
議長 長尾 修 様

真庭市議会議員 森脇 正和



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

京都府京丹後市峰山町杉谷1030
京都府丹後文化会館

3 内 容

第17回全国水源の里シンポジウムin京都府京丹後市
基調講演・パネルディスカッション・交流会・現地視察研修

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ ☒ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

行程表（令和 7 年10月29日、30日）

日付	時刻	分類	内容	備考
10/29	8 : 30	移動	久世本庁舎→久世IC→福崎IC→山東IC→研修会場	米子道、中国道 播但道
	13 : 00	研修会	第 1 7 回全国水源の里シンポジウム	京都府京丹後市峰山町杉谷1030 京都府丹後文化会館 Tel : 0772-62-5200
	18 : 00	交流会	交流会	京都府京丹後市峰山町杉谷943 KISSUIEN Tel : 0772-62-5111
	20 : 00	宿泊	KISSUIEN	京都府京丹後市峰山町杉谷943 Tel : 0772-62-5111
10/30	8 : 30	現地視察	Cコース	峰山町、久美浜町
	12 : 30	移動	山東IC→福崎IC→久世IC→久世本庁舎	播但道、中国道 米子道

参加議員名簿

日にち：令和7年10月29日、30日

No.	名 前	会 派 名	備考
1	もりわき まさかず 森脇 正和	りょく しん かい 緑 真 会	代表者
2	にしだ ふみこ 西田 文子	りょく しん かい 緑 真 会	
3	せのお ともゆき 妹尾 智之	こうめいとうまにわしぎだん 公明党真庭市議団	
4	おくら いちろう 小椋 一郎	こうめいとうまにわしぎだん 公明党真庭市議団	

様式第2号

報 告 書

令和7年 11 月 4 日

真庭市議会議長 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 小椋 一郎



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和7年10月29日（午前・午後） 8時 30分 至 令和7年10月30日（午前・午後） 12時 35分
2 場 所	①京都府丹後文化会館 ----- ②京丹後市峰山町～久美浜町
3 用 件	第17回 全国水源の里シンポジウムin京都府京丹後市 -----
4 概 要	①テーマは上流は下流を思い、下流は上流に感謝する ----- 「集落を超えた広域的な地域コミュニティから始まる人口減少社会における活力の創造」 -----

報告書（継紙）



「多様な人材と資金の循環による地域コミュニティの自立を目指して」
とのテーマを軸に基調講演、パネルディスカッション等で京丹後市の課題や魅力を
とても解かりやすく発信していました。
シンポジウムでは、全国の自治会が抱える課題として「我慢・義務・犠牲」を3Gと
表現し、地元の人たちにやる気の火をつけるには「楽しみ」からアプローチをする事
の重要性を説かれていました。
「人口減少は悪くない」との講演で、地元で生産する農産物、伝統工芸品、歴史や
文化に希少価値が生まれてくる。京丹後市を好きになってくれた人達、都市部の人達
と、交流が途切れないように魅力を発信し続けることで「関係人口」を増やしていく
努力が必要と。人が交わることで地域の人材と資金の循環に繋がるという事で、人口
ではなく「関係人口」という表現を使っていたことが印象的でした。
パネルディスカッションでは、京丹後市を代表する4名のパネリストの方のトーク
が素晴らしく、それぞれの立場で課題を乗り越える工夫や魅力を届けてくれました。
株式会社丹後乳販代表取締役 WAKUWA健康しあわせステーション代表井上泰典氏。
いやさか吉野地域づくり協議会地域マネージャーの江草智子氏。
株式会社リバイタライズジャパン 代表取締役の三本大介氏。
株式会社あしあと 代表取締役の八隅孝治氏。
自分の得意分野で、しっかりと地域コミュニティに溶け込み、課題の解決、持続可能
な地域づくりの活動報告から、本当に京丹後が大好きな思いが伝わりました。

②現地視察 峰山町・久美浜コース

稲作発祥の地と言われている京丹後市の歴史が凄い。食物の神豊受大神が、太陽の神天照大御神のために日本初の稲作を試み、その粳種を蒔いたところが「月の輪田」とであると伝わっており、古代米の田植え式を行って以来、毎年区民行事として稲作を行っている。

江戸時代発祥の絹織物「丹後ちりめん」は2017年度日本遺産に認定されています。「天の羽衣」伝説が、丹後国風土記に記されていることから、最古の羽衣伝説の一つとされている。

食文化も凄い。久美浜町にある木下酒造は天保13年より続く「玉川」の蔵元。水、米、米麹以外は一切無添加。土壁や梁に棲みついている微生物の力で、唯一無二の日本酒を製造している。

歴史的建造物も凄い。久美浜の豪商 稲葉本家は織田信長の家臣団、美濃三人衆の一人稲葉一鉄一族の縁者が初代喜兵衛といわれている。現代の建築技術ではまねできない、土間の吹き抜け、母屋などの柱や梁の一つ一つが圧巻です。

神話から歴史と文化まで息づく町で、京丹後市地域づくり協同組合「ほむたん」では新たな暮らし方・働き方をデザインする人達と興味深い取り組みをしていました。結婚、出産、介護などの課題に対して、柔軟な対応を提案していることで、移住者の安心と郷土愛を育む良い活動をしていると思います。

真庭市にも通じるものがあると強く感じたので、おもしろい提案が発信できるように研究をしていきます。



京丹後市

〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889番地
TEL(0772)69-0110/FAX(0772)69-0901
URL: <https://www.city.kyotango.lg.jp>



京丹後市



REVITALIZE JAPAN Inc.

京丹後lab: 京都府京丹後市弥栄町野中1600番地
TEL: 0772-66-3075

京丹後市市長公室

地域コミュニティ推進課

〒627-8567
京都府京丹後市峰山町杉谷 889
☎0772-69-1050 FAX:0772-62-6716



株式会社あしあと

株式会社あしあと

久美浜一区自治会



子どもたちのため、
京丹後市のために

〒629-3113
京丹後市網野町小浜932-2-202

ほむたん

TEAM
HOME
TANGO



(労働者派遣事業者)
京丹後地域づくり協同組合
京都府京丹後市久美浜町佐野450番地

日本維新の会

【さくま仁美 事務所】

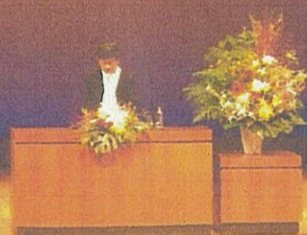
〒627-0002
京都府京丹後市峰山町矢田 389 番地



第17回 全国水源の里シンポジウム in 京都府 京丹後市

第17回 全国水源の里シンポジウム in 京都府 京丹後市

はじめに
(趣旨説明・自己紹介)



第17回 全国水源の里シンポジウム in 京都府 京丹後市

報 告 書

令和7年 11 月 4日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 森 脇 正 和



下記のとおり政務活動費を使用して研修会活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和7年10月29日(午前) 8時30分 至 令和7年10月30日(午後) 4時30分
2	場 所	京都府京丹後市峰山町杉谷1030 京都府丹後文化会館 ----- ----- ----- ----- ----- -----
3	用 件	第17回全国水源の里シンポジウム ----- ----- ----- ----- ----- -----



4 概 要

オープニングに「長寿よさこい京丹後」の踊り披露。開会式の後、フォトコンテストの表彰式がおこなわれた。その後、株式会社雨風太陽代表取締役社長高橋博之氏による「集落を超えた広域的な地域コミュニティづくりと人口減少社会における活力の創造」と題した基調講演が行われた。その中で関係人口の重要性、楽しい2地域居住やこれからは、住民自治から関係自治へと変わっていくことが望ましい。上流は下流を思い、下流は上流に感謝することが重要であることを話された。

次に、福知山大学地域経済学部准教授杉岡秀紀氏をコーディネーターに株式会社丹後乳販代表取締役井上泰典氏、株式会社リバイタライズジャパン代表取締役三本大介氏、いやさか吉野地域づくり協議会地域マネージャー江草智子氏、株式会社あしあと代表取締役八隅孝治氏をパネリストに「多様な人材と資金循環による地域コミュニティの自立を目指して」をテーマにパネルディスカッションが行われた。今までの自治会、町内会単位だけでは地域の担い手確保は難しい。京丹後市では新たな地域コミュニティが活動を始めたことを江草氏より報告された。3G（我慢・犠牲・義務）だけでは持続可能な地域活動が期待できない。楽しむ・動く・振り返ることが重要であるが、地域の人に火をつける難しさ、自治会と行政の関係性の難しさがあることが三本氏から報告された。長寿だけで幸福度が上がるとは限らず、現在の苦悩や課題をより楽しくできるかが話あわれた。自立とは依存先を増やすこと。都市にも地方にも依存先を増やす。関係自治が大切、連携から連繫へもっていくことが地域コミュニティの自立につながるとしてパネルディスカッションが終了した。

次回開催地の太田真庭市長のあいさつで閉会となった。

2日目、峰山町・久美浜町コース：羽衣伝説の地で伝統が息づくまちなみと新たな暮らし方・働き方をデザインする人々に出会う現地視察研修を行った。

稲葉本家では、京丹後地域づくり協同組合「ほむたん」による移住支援の活動が報告された。移住者が組合員の職場で1年のうちそれぞれの繁忙期に複数の職場で働くなど自由な働き方をサポートしていることなどが報告された。

上流は下流を思い、
下流は上流に感謝する

第17回

全国水源の里 シンポジウム

in 京都府京丹後市

新
コミ

集落を超えた**広域的な地域コミュニティ**から始まる
人口減少社会における活力の創造

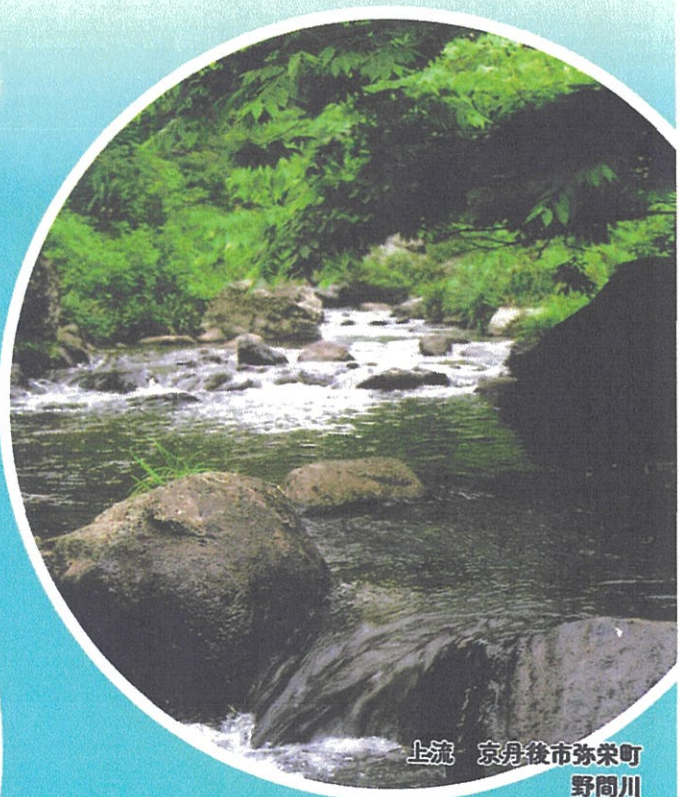
～多様な人材と資金の循環による地域コミュニティの自立を目指して～

日程

令和7年10月29日(水)・30日(木)

会場

京都府丹後文化会館 ほか



上流 京丹後市弥栄町
野間川



下流 京丹後市網野町
八丁浜

報 告 書

令和7年10月31日

真庭市議会議長 長尾 修 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 西田文子



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和7年10月29日（午前・午後）1時00分 至 令和7年10月30日（午前・午後）12時35分
2 場 所	京都府京丹後市峰山町杉谷1030 京都府丹後文化会館 京都府京丹後市峰山町杉谷943 KISSUIEN
3 用 件	第17回水源の里シンポジウムin京都府京丹後市 ----- 基調講演 集落を超えた広域的なコミュニティづくりと 人口減少社会における活力の創造 (株)雨風太陽 代表取締役社長 高橋博之氏 ----- パネルディスカッション 多様な人材と資金の循環による 地域コミュニティの自立目指して コーディネーター 福知山公立大学地域経営学部准教授 杉岡秀紀氏 パネリスト 井上泰典氏、江草智子氏、三本大介氏、八隅孝治氏 ----- 現地視察研修 C 峰山町・久美浜町コース 羽衣伝説の地で、伝統が息づくまちなみと、 新たな暮らし方・働き方をデザインする 人々に出会う ガイド：京丹後市地域コミュニティ推進課 吉井歩未氏 京丹後地域づくり共同組合 代表理事 川淵一清氏



4 概 要 ○基調講演の講師は岩手県花巻市のご出身で、宮沢賢治の代表作から、クマが人を襲ったりするのは、自然からしっぺ返しをされていると。セロ弾きのゴーシュは、楽団と水車小屋でのゴーシュの評価の違いから、楽団を都市部、水車小屋を地方だと考えれば人はどちらが楽しくいられるかで、生きて行ける。能登の震災で家を無くして避難している人を安全な都市部のホテルに一人ずつ入ってもらおうと、温かくて食べ物も充分あるが、人や地域ご先祖との繋がりが無くなると楽しくない。そしてだんだん弱っていく。

明治維新の頃日本は強くなりたいたい豊かになりたいという強い意志を持って、それが一つにまとまるともっと強くなり、戦争に勝ったり、豊かにするために多くの人を地方から集団就職させ東京に集めた。その結果が今の地方の現状。問題は新しい意志を打ち立てられていないこと。

集落を超えた広域的な地域コミュニティづくりとは下流域と上流域を繋げる。ふるさと住民登録制度を総務省の政策として2つの地域に住民票を置いて、行きききしながら生活することだが、最初は観光客として、そして関りを持ちたいと思い、関係人口にそして関係自治になっていけば、都市部でのストレスを地方で解消し、都市部のスキルを地方で役立てることでやりがいや楽しさを見つけることが出来る。地方も自分たちの生活に情報と知恵を教えてもらい生活が潤えば気力、活力が出る。行政に支援ばかりしてもらって、楽しいのか。人は成長したい、人の役に立ちたい、それが楽しく生きることにつながる。

行政が支援しなくても循環していけば、予算も少なくて済む。

人口減少社会をマイナスにとらえるのではなく、新たな創造の始まりとプラスにとらえる。

○パネルディスカッションで、パネラーの方が4人中3人が社長という肩書で珍しい。乳製品の販売業の井上氏は乳製品を届ける仕事から、新型コロナで売り上げが8割消えてしまい、そこから出かけない、人と関わらないことで弱っていく人を引っ張り出すため、居場所をつくり、人が集い笑顔が生まれる。地域で支え合うという届けるから「つなぐ力」へ新たな挑戦を始めた。

ビーチのゴミを拾ってきれいにすることを職業にしている八隅氏。スポンサー

を募ってゴミを拾うイベントをしている。自主事業も立ち上げ、拾ったペットボトルの蓋を溶かして海の生き物のキーホルダーなどを作って販売を始めた。小さい子どもや高齢の方は小さなゴミを拾ってもらい、力のある方は流木や大きなゴミを拾ってもらっている。それぞれに役割があり、1時間以内で終了するので、疲れる手前で終わり、楽しかったーで終わっている。

京丹後市には地域マネージャーという方がいて、江草さんは「いやさか吉野地域づくり協議会」に所属している。合言葉は、おもしろえ吉野。楽しいこと中心に考え活動をしている。

三本氏は地域の魅力を体験することをプロデュースしたり、持続可能な地域社会を創造するため活性化支援を行っている。

○現地視察研修は、まず羽衣伝説のお話を車中で聞きながら、比沼麻奈為神社を参拝、神主さんと巫女さんの舞を拝見し、玉串奉納を私が代表でさせていただいた。5つ酒造があるうちの1つ木下酒造と道の駅くみはまSANKAIKANを見学兼買い物、豪商、稲葉本家のお屋敷を見学した。このお屋敷は100年以上前に建てた当時のままの木で、ベンガラに炭を混ぜたものを塗っているため保存状態がいいとのこと。ここで昼食もいただいた。丹後はバラ寿司が郷土料理で、海と平野と山があるため海の幸、山の幸様々な特産品がある。

食事をしながら、ほむたん（TEAM HOME TANGO）京丹後地域づくり共同組合の川淵氏の講話。移住者と事業者を繋ぐ組合で正社員で雇い、2つの仕事をしてもらうことが条件。フルタイムで働き、福利厚生もあり、産休もある。移住するときに仕事どうしようと思う。2つの仕事をするとその後にもつながる。繁忙期に人が欲しい事業者も助かるため、登録が増えている。

感想 オープニングに84歳の女性2人を含む平均77歳の丹後ヨサコイの踊りを見て、とってもお元気なのにびっくりしました。100歳以上の方が全国の自治体の3倍の人数いる京丹後市、なにが秘訣なのか。やっぱり人生を楽しんでいるのかと思いました。今回のお話では関係人口と関係自治という新しい造語を聞きました。無理に定住で人口減少を解決していかななくても

報告書（継紙）

住んでいる人や来てくれる人が楽しく、経済も循環していけば、人口減少は問題でも悩みでもなくなると思いました。水源の上流地域は下流の都市部を思い、下流の都市部は上流に感謝する。人もお金も循環すれば平和と調和と融合する日本の形が生まれ、良い世の中になると思います。

次回開催地が真庭市ということで、沢山の方と交流が出来、真庭へのPRも沢山出来たので、とても楽しみです。



京都府丹後文化センター 会場



基調講演 (株)雨風太陽代表取締役社長 高橋博之氏



パネルディスカッション



交流会



豪商 稲葉家



ほむたん 川淵一清 氏

報 告 書

令和 7 年 11 月 4 日

真庭市議会議長 長 尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 妹 尾 智 之



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和7年10月29日（午前・午後）13時00分 至 令和7年10月30日（午前・午後）13時00分
2 場 所	京都府丹後文化会館 現地視察 峰山町・久美浜町コース
3 用 件	第17回水源の里シンポジウム
4 概 要	10月29日（水） 【基調講演】 株式会社 雨風太陽 代表取締役社長 高橋 博之 「集落を超えた広域的な地域コミュニティづくりと人口減少社会における 活力の創造」 これからは、関係人口の増加に取り組んで地域の活性化を図ることが大事。 自分の得意分野を増やし、地域の活性化に繋がる。



報告書（継紙）

【 パネルディスカッション 】

「多様な人材と資金の循環による地域コミュニティの自立を目指して」

コーディネーター

福知山公立大学 地域経営学部 准教授

杉岡 秀紀

パネリスト

株式会社丹後乳販 代表取締役

井上 泰典

いやさか吉野地域づくり協議会 地域マネージャー

江草 智子

株式会社リバイタライズジャパン 代表取締役

三本 大介

株式会社あしあと 代表取締役

八隅 孝治

【 井上 泰典 】

先代から受け継いだ想い「医者の中の医者であれ」

乳製品の宅配で届ける、健康と安心を。

届ける仕事から「つなぐ」しごとへ

2025年7月「WAKUWA健康しあわせステーション」設立

体操や講座、カラオケやおしゃべりの場など提供

人が集い、笑顔が生まれる、まちの居場所づくり

学んで、食べて、語り合う。

楽しみの輪を広げながら、ワイワイ、ワクワク、歳をとろう。

京丹後で生まれてよかった。その瞬間を増やすために、「届ける」を

「つなぐ力」へ

先代から受け継いだ想いの取り組みをされている。

年齢に関係なくまちの居場所づくりになっている、健康から趣味まで

先代の「医者の中の医者であれ」がカタチになっている。

【 江草 智子 】

新コミュって何？から始まった。

報告書（継紙）

点は未来につながる、そのために続ける。

2021年度から京丹後市の新たな地域コミュニティ推進事業で「いやさか吉野地域づくり協議会」を立ち上げ「みんなでつくろう おもしろえ吉野」を合言葉に、地区の人たちが楽しめることを中心に考え活動中。
地域が楽しく元気な地域づくりができています。

【 三本 大介 】

- ◆福祉をRe：デザインする 地域にこそ、最新情報を。
- ◆稼げる自治会を創る 補助金に頼らない。自己財源獲得。

地域版ふるさと納税制度の活用を自治会と協働

令和5年度の実績 野間地区に来たことがある人たちから、野間地域として約250万円の交付金を獲得し、施策を独自に実施。

- ・地域高齢者向けの送迎者の購入
- ・地域のブランディング動画（PV）作成
- ・夏祭りの活性化＆打上花火増発

今年度は…

- ・野間地区お米コンテストの開催
- ・野間住民のための健康カレンダー政策

- ◆稼げる農家を創る 若者が「居続ける経済環境」を作る

- ・特産のコシヒカリのブランド化を行い、高付加価値化を実現。

事業利益は契約農家、自治会、全国の子どもたちに再分配。

- ・地域に火をつける難しさ。
- ・自治会と行政との関係性。（都道府県や国）
- ・地域の皆さんが喜んでくれた瞬間に自分も喜びを感じる。

【 八隅 孝治 】

世界的な環境課題である海ゴミ問題に対し、「はだしで遊べる海を未来へつなぐ」を使命に、ビーチクリーン活動や企業研修、学校での出前授業・

報告書（継紙）

講演、プラスチックのアップサイクル事業を展開。

ビーチクリーンの職業化や海ゴミの資源化、海を守り、楽しみ、未来へつなぐ新しい仕事「BEACH WORKER（ビーチワーカー）」の創出を目指す。

資金繰りが悩みのたね。

体を動かしてビーチクリーンしている瞬間が楽しい。

今まで、267回、41,720kg回収、総参加者数6,053人。

大好きな海を守り、楽しみ、つないでいく仕事 BEACH WORKER

10月30日（木）

現地視察研修

【 峰山町・久美浜町 コース 】

日本の稲作発祥神話と羽衣伝説の地で、伝統が息づくまちなみと、新たな暮らし方・働き方をデザインする人々に出会う

- ・月の輪田 稲作を始めたとされる場所
- ・比沼麻奈為神社 五穀豊穡の神を祀る由緒ある神社
- ・木下酒造 イギリス人が杜氏を務める天保13年より続く蔵元
- ・道の駅くみはま SANKAIKAN
- ・豪商 稲葉本家 江戸時代の豪商・稲葉家の屋敷。

京丹後地域づくり協同組合「ほむたん」との交流

「ほむたん」 ほむたんを通して就職する（基本2業種以上）

例：農繁期は米農家（酒米）へ、稲刈り後は蔵元（日本酒づくり）

果樹園春先袋掛け、収穫時直売所で販売

卒業後は、①受け入れ先に就職

②丹後に暮らし続けたまま関係性を維持

③京丹後を離れる

報告書（継紙）

【感想】

今回の、「水源の里シンポジウム」のキーワード「楽しい」です。

関係人口の創出や維持、「楽しい」がなければ続かない。

楽しさがないと人も来ない。

中心で取り組んでいる人たちも、楽しいからやっている、そこに人は集まる。

苦しい事ばかりでは、人はいなくなる。今回の京丹後市で様々な楽しい

事を皆にひろげ関係人口の増加を行いながら、地元の人達も楽しんでいる。

人口減少を嘆くのではなく、地元の人たちが楽しんで、人が集まる取組み

を行なえることを考えていくべきだと感じました。

新たな、取組みの手本になる地域発の事業が豊富にありました。

地元の人たちだけでなく、他地域から新しい人材が新しい風を入れること

で新しい「楽しさ」が生まれる。

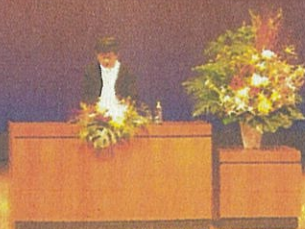
関係人口 × 楽しい が、地域の活力であり活性化に繋がる。と感じた。



第17回 全国水源の里シンポジウム in 京都府 京丹後市

第17回 全国水源の里シンポジウム in 京都府 京丹後市

はじめに
(趣旨説明・自己紹介)



本日のシンポジウムは、水環境と生活のつながりについて、京丹後市と京都府の両市が主催する。京丹後市は、水環境と生活のつながりについて、京丹後市と京都府の両市が主催する。